



貴重書、各地を巡る

コラボ動画も作成！



久米島町

来場者との座談会



和泊町（鹿児島県）

知名町（鹿児島県）

展示会



報告会で締めくくり



自治体と連携し、各地で「おでかけ貴重書、〇〇へ行く！」と題したミニ展示会や関連イベントを開催しました。（活動の詳細は3ページ参照）

目次

- 1…表紙（貴重書、各地を巡る）
- 2…デジタル教科書・電子黒板が図書館で使えるようになりました
- 3…出張ミニ展示会「おでかけ貴重書、〇〇へ行く！」を開催
- 4…学修支援セミナー「先輩に聴く！」シリーズを開催しました
- 4…研究データ管理セミナーを開催
- 5…琉大リサイクル募金始めました～サポートに必要なものは、不要なものです～
- 5…日経新聞記事データベースをはじめ、さまざまなデータベースが利用可能になりました
- 6…キャリア教育関係図書コーナー「キャリアLab」を設置しました
- 6…第17回琉球大学びぶりお文学賞選考結果
- 7…びぶりお文学賞受賞者の言葉・第18回の募集について
- 8…琉球大学附属図書館・琉球大学博物館（風樹館）、2023年度の合同企画展を開催
- 8…学内の研究をマッチング！「琉大100人論文」初開催
- 9…学内外の機関と連携し館内企画展を開催
- 11…附属図書館SD「事務系職員のための図書館講座～研究室備付図書管理編～」を開催
- 11…大学出版会の設置
- 11…琉球大学の歴史資料の移管
- 11…図書館所蔵資料が利用された出版等
- 12…図書館日誌
- 13…統計
- 14…図書館組織図



琉球大学附属図書館ウェブサイト

URL : <https://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/>

各種 SNS もやっています！



https://x.com/ryukyus_lib



https://www.instagram.com/ryukyus_lib



<https://booklog.jp/users/ryukyus-lib>



<https://www.youtube.com/channel/UCaO7QIBLwiOSRIOgQhK2x3A>

図書館からのお知らせは要チェックだよ☆



デジタル教科書・電子黒板が図書館で使えるようになりました

図書館では、国際地域創造学部・教育学部と協力して、東京書籍・教育出版・光村図書の中学校英語3学年分のデジタル教科書と電子黒板を導入しました。

2024年度から、小学校5年生～中学校3年生の「英語」でデジタル教科書が先行導入される状況に対応するためです。これにより、関連分野の教員免許の取得を目指す学生全員がデジタル教科書を大学内で利用できる環境が整備されました。

導入にあたっては、2024年1月31日に電子黒板説明会を1回、同年2月1日にデジタル教科書体験説明会を3回開催しました。

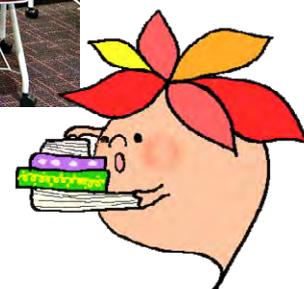
それぞれ電子黒板の導入業者と教科書を出版している東京書籍からインストラクターをお招きし、詳細な使い方や授業での活用方法など、実際に電子黒板でデジタル教科書を動かしながら説明していただきました。

電子黒板説明会は延べ26名、デジタル教科書体験説明会は延べ23名の参加があり、特にデジタル教科書体験説明会では実際にデジタル教科書を動かしながら、活発な質疑応答が交わされました。

アーカイブは学内限定で公開しています。

デジタル教科書は学内の方で教員免許取得を目指す学生や教職課程に関わる教員であれば誰でも、電子黒板は学内の方であれば誰でも使うことができます。

教育実習等でデジタル教科書やICT機器を使う前に、ぜひ図書館で自習・練習にご活用ください。



出張ミニ展示会「おでかけ貴重書、〇〇へ行く！」を開催

図書館では、「誰でも」「どこからでも」本学の文化資源を享受し、地域の歴史・文化を学修できる環境づくりに取り組んでいます。デジタルコンテンツや機動性のある什器を導入し、これまで以上に細やかな地域連携を実現するため、県内各地で「おでかけ貴重書、〇〇へ行く！」と題し、図書館所蔵の貴重な図書資料や写真資料を展示する出張展示会を開催しました。

2023年度は、南城市や沖縄県民カレッジ美ら島沖縄学講座との連携講座、久米島における本学OB・OGとの座談会、鹿児島県沖永良部島の知名町と和泊町の両町との連携企画等を開催しました。

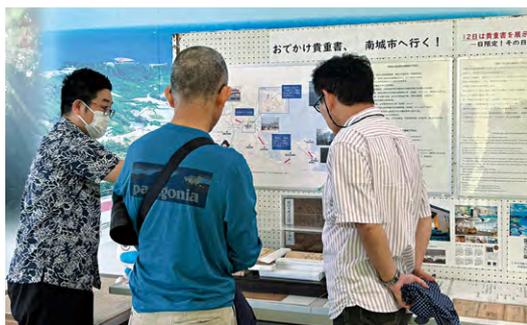
南城市では、斎場御嶽と関連の深い『聞得大君加那志様御新下日記（きこえおおぎみがなしさまおあらおりにつき）』を展示しました。また、この展示に合わせて南城市教育委員会とのコラボ動画「【なんじょうデジタルアーカイブコラボ企画】聞得大君の就任儀礼『御新下』を歩いてみた!」を作成し、前編を図書館 YouTube チャンネル、後編をなんじょうデジタルアーカイブの YouTube チャンネルで配信しました。さらに、南城市観光協会の YouTube チャンネル（公式なんじい）においても、当日の様子が配信されています。

沖永良部島で開催した際には、貴重書の展示とともに本学教員の講演会を実施しました。知名町では、麻生伸一先生（人文社会学部教授）による講演会「海からみた近世の沖永良部島」を開催し、大盛況となりました。和泊町で開催した佐々木健志先生（博物館助教）の講演会「奄美群島の結縄文化」も多くの来場者で会場が埋め尽くされました。麻生先生と佐々木先生の講演の様子は、図書館 YouTube チャンネルにてアーカイブを公開しており、継続的な学びの場を提供しています。

今後も学内教員や県内各地の自治体をはじめ、様々な機関との連携により事業を継続する予定です。また、YouTube など SNS の活用を通して、リアルとオンラインによる「地域連携の二刀流」を目指し、図書館は突き進んでいきます。

<2023年度開催地>

開催地	開催日時	開催場所	展示資料
南城市	2023年11月11日～15日 ※貴重書展示は11月12日のみ	がんじゅう駅南城	『聞得大君加那志様御新下日記』（伊波普猷文庫）
那覇市	2023年11月22日	沖縄県生涯学習推進センター	『聞得大君加那志様御新下日記』（伊波普猷文庫）
久米島町	2023年12月9日	久米島博物館	「琉大の古写真」（大学史資料）
知名町 （鹿児島県）	2024年1月20日	知名町立中央公民館	『琉球諸島図巻』・仲宗根政善「奄美大島方言調査ノート」（その他文庫・仲宗根政善文庫）
和泊町 （鹿児島県）	2024年2月17日	和泊町防災拠点施設やすらぎ館	『渡琉日記』・『琉球諸島図巻』（伊波普猷文庫・その他文庫）



学修支援セミナー「先輩に聴く！」シリーズを開催しました

本館2階ラーニング・コモンズにあるラーニング・サポートデスクでは、琉球大学の大学院生TA（ティーチング・アシスタント、以下TA）が、レポートの作成に関することや、TAの専門分野に関すること等、大学での勉強のコツをアドバイスする学修支援を行っています。その一環として、TAによるセミナーを全10回、対面とYouTubeライブ配信のハイブリッド形式で開催しました。

2023年度のセミナーでは、新入生向け履修登録の方法や、大学院進学・就職活動・博士課程の実体験等、TAがこれまでの学生生活で得た知見を学部生に向けてお伝えしました。

その他、読書会のすすめ、グラフ描画ツールGeoGebraの紹介、TA自身の研究内容やその手法等、TAの専門分野に関する内容もありました。延べ331人の参加があり、参加者からは、「直接先輩から話を聴けることでとてもわかりやすい」「学際的な研究分野の話がきけて面白かった」「院への進学についてぼんやりとした行程しか描けていなかったの具体的な話を聞いて良かった」といった好意的な感想が多く寄せられました。



セミナーの様子



ツールの使い方を説明中

これらのセミナーはすべて録画し、学内専用ページで随時公開しています。セミナーの概要や動画へのリンクは、図書館ウェブサイト「大学院生TAと図書館職員によるオンラインセミナー (https://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/ta_onlineseminar/)」からご覧いただけます。参加できなかった、もう一度見たいという内容があれば、ぜひご覧ください。

2024年度もセミナーを企画中です。決まり次第、図書館公式SNS・ウェブサイトでお知らせします。どうぞお楽しみに！

研究データ管理セミナーを開催

2024年2月15日、研究データ管理セミナーを本館ラーニング・コモンズおよびZoomによるハイブリッドで開催しました。

今回のセミナーでは、オープンサイエンスの国際的な動向や東海コンソーシアムにおける研究データ基盤の整備から地域連携、GakuNin RDMの新機能、研究支援スタッフの研究データ管理に対する関わり方など、各種のトピックを講話いただきました。

質疑では、データマネジメントプランへの国内での対応状況やGakuNin RDMを実際に利用しているユーザーからの運用上の悩みへの相談やその改善方法など、研究データ管理における現状と課題を共有する事で、更に理解が深まるセミナーとなりました。

※当日の資料は以下のウェブページにて公開しています。

<https://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/rdm2024/>

※ GakuNin RDM の利用方法などは、以下をご覧ください。

https://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/gakunin_rdm/

琉大リサイクル募金始めました～サポートに必要なのは、不要なものです～

2024年1月から、読み終えた本や不要になったDVD、ゲームソフトなどの買い取り額が「琉球大学基金」に寄付される「琉大リサイクル募金」を開始しました。ご寄付は、図書館支援プロジェクトとして学生用図書の購入や設備の更新など学修環境の向上のために活用します。

琉大リサイクル募金の対象となるのは、マンガを含む本や雑誌のほか、DVDやブルーレイ、ゲームソフト、スマートフォン、タブレット、未使用または書き損じ葉書や年賀状などの物品で、本館2階カウンターに設置している回収ボックスに投函する方法と、宅配便を利用して買い取り業者に送付する方法があります。宅配便を利用する場合は「寄付申込・集荷依頼サイト」からお申し込みが必要で、10点以上で送料が無料となります。

不要になりました本やDVDなどがありましたら、「琉大リサイクル募金」へご寄付をお願いします。

寄付申込・集荷依頼サイト：<https://hon-bokin.jp/ryukyu>

日経新聞記事データベースをはじめ、さまざまなデータベースが利用可能になりました

琉球大学では、学修・研究に役立つツールとして、さまざまな電子ジャーナル・データベースを提供しています。日経新聞記事データベース「日経テレコン21」を含めて新たに8つのデータベースやオプションコンテンツが利用可能になりましたので、ぜひご活用ください。

データベース一覧 <https://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/page-471/>

コンテンツ名	コンテンツ概要
日経テレコン21	日本経済新聞記事データベース。日経4紙やマクロ統計など各種のビジネス情報が取得できます。
朝日新聞クロスサーチ オプションコンテンツ	朝日新聞の記事データベース。明治・大正期の紙面データベースや、人物データベース、歴史写真アーカイブも利用可能になりました。
ジャパンレッジ オプションコンテンツ (世界大百科事典、大漢和辞典)	「日本大百科全書」「日本国語大辞典」「現代用語の基礎知識」などの辞典・辞書を横断検索出来るサービス。「世界大百科事典」「大漢和辞典」も利用可能になりました。
メディカルオンライン	医学系の国内論文の検索・フルテキストの利用ができるデータベースです。製薬情報や医療関係機器の情報なども検索できます。
Westlaw Japan	法令、判例、審決等、書籍・雑誌・文献情報、ニュース記事を検索できる日本法総合オンラインサービスです。電子版ジュリストや判例百選も利用可能です。
Hein Online	アメリカ法、国際法に関する様々なコンテンツが収録されたデータベースです。
National Geographic Virtual Library	ナショナルジオグラフィック英語版の記事データベース。創刊号から2020年までの記事を検索・利用可能です。音声読み上げ機能で英語学習などにも活用できます。
U.S. Declassified Documents Online	アメリカの機密指定解除文書が収録されたデータベースです。2020年までに機密指定解除された文書の検索・フルテキストが利用可能です。

キャリア教育関係図書コーナー「キャリア Lab」を設置しました



図書館では、キャリア教育センターと協働し、2023年4月から、学生の就職・資格取得に関する図書のコーナー「キャリア Lab」を本館1階多目的ホールに設置しました。キャリア教育センターがおすすめする就職・資格関連の図書を置いています。

「キャリア Lab」という名称は、キャリア教育センターによる公募で決定しました。

このキャリア Lab にある図書はすべて貸出可能です。

就職に関する情報集め、公務員試験対策や資格試験対策などに、ぜひ活用ください。



第17回 琉球大学びぶりお文学賞 選考結果

2023年5月から作品を募集しました「第17回 琉球大学びぶりお文学賞」は10月24日に募集が締め切られ、小説部門に9編、詩部門に12編の応募がありました。11月24日・11月29日両日に行われた選考の結果、以下のとおり受賞作品を決定しました。

【小説部門】

受賞作（正賞）

該当作なし

佳作2編

『これは小説である』野口 佳（琉球大学 理学部数理科学科3年）

『香食』土木 団（琉球大学大学院 理工学研究科博士前期課程2年）

【詩部門】

受賞作（正賞）

『うたたね』二藤（沖縄国際大学 総合文化学部日本文化学科4年）

佳作2編

『遺伝する生と』藍原 知音（琉球大学 人文社会学部琉球アジア文化学科2年）

『肚の蟲』富井嫉妬（沖縄国際大学 総合文化学部人間福祉学科3年）

受賞作品をまとめた作品集を発行しました。ウェブ上でも全文を公開していますので、ぜひご覧ください。

○バックナンバー 一覧（びぶりお文学賞）

<https://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/about/biburio-award/page-1193/>



第17回 琉球大学びぶりお文学賞授賞式

本館2階ラーニング・コモンズにて2024年2月29日に授賞式を執り行いました。

授賞式では、受賞者より作品への想いや執筆時のエピソードを語っていただきました。続いて、石原昌英理事よりお祝いのお言葉をいただき、選考委員からは入賞作品に対する講評が述べられました。



第17回琉球大学びぶりお文学賞授賞式

びぶりお文学賞受賞者の言葉

【詩部門】

『うたたね』 二藤

この度は、正賞に選んで頂き誠にありがとうございます。

「うたたね」をすると、過去の記憶がうつらうつらとよぎってくるものです。この詩は、小さな頃の記憶がよみがえり、過去を見つめ直したものです。

過去の私は、病弱で、小学校から中学校にかけて毎月病院に通い、数値とにらめっこしていました。通院の初め、学校に通う他の子供達も注射を打っているものだと思っていました。成長するにつれ、激しい運動はできない状態になり、ようやく周りとの違いを感じ始めました。

社会人になると、協調性が大事だと言います。いつしか、周りと合わせることばかり考えている自分自身に嫌気がさしたのが、詩の6連目部分になります。すぐに打ち解けられる人が羨ましくて仕方がないのですが、もしかすると、私も誰かにとっては青い芝生かもしれない、考え出すとどうしようもなくなった気持ちを書いています。

社会が目まぐるしく変化する昨今において、自己を確立する難しさを改めて実感しました。これから先の未来、不安なことがあったとしても心の支えとなるものを一つ一つ見つけていきたいと思います。

改めまして、琉球大学びぶりお文学賞に関わった方々にこの場をお借りして感謝を申し上げます。

■第18回の募集について

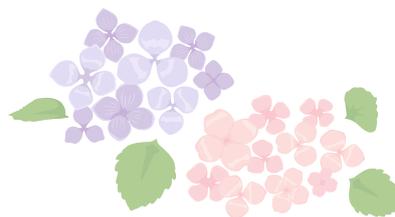
「第18回琉球大学びぶりお文学賞」の作品は2024年10月22日まで募集しています（最終日の提出締切は17時まで）。

学生の皆さまの挑戦をお待ちしています。

応募要領など詳しくは図書館ウェブサイトをご確認ください。

【作品募集】第18回琉球大学びぶりお文学賞

<https://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/info/14941/>



琉球大学附属図書館・琉球大学博物館（風樹館）、2023年度の合同企画展を開催

図書館及び博物館（風樹館）は、毎年本学所蔵資料を地域貢献の一環として公開する企画展を開催しています。2023年度は、「恩納村の海と暮らし」と題し、本学考古学研究室の展示協力を得ながら、恩納村教育委員会・恩納村博物館と共催で同村博物館にて2023年10月7日から同年10月29日の日程で開催しました。

本展では「海と暮らし」を主題に、「恩納村の海から」「恩納村へ海から」「恩納村の暮らしと自然」という各テーマを設定、それぞれに本学所蔵資料の中から実物標本（土器遺物、動物標本など）・貴重書などを出展しました。特に図書館からは、海図や冊封使の書、ペリー提督に関する石版画など、これまで館外出展を行っていない貴重な資料を展示しました。

また、本学考古学研究室所蔵資料や共催機関からの展示品（出土遺物、扁額など）、博物館（風樹館）よりサンゴなどの実物資料数点と動物や昆虫の写真を展示しました。さらに、関連イベントとして2回の講演会を開催しました。

期間中は1,001名の見学者が訪れ、NHKなどのメディアでも紹介されました。見学者からは「恩納村にペリーが来たことを初めて知った」「自然と生活のつながりが見える企画だった」ほか多数の好意的な感想が寄せられました。

2024年度は、うるま市での開催を予定しています。ご来場をお待ちしております。



学内の研究をマッチング！「琉大100人論文」初開催

2023年6月、本学総合企画戦略部研究推進課、研究推進機構研究企画室と連携し、本館・医学部分館で「琉大100人論文」を開催しました。

「100人論文」は、京都大学発祥のイベントです。研究者間の新たなネットワークや共同研究を創出することを主な目的としており、これまで国内のさまざまな大学で開催されています。イベントの流れは以下の通りです。

- ①発表者は、匿名で自身の研究内容を紹介するポスターを作成する。
- ②イベント来場者は、会場に掲示されたポスターに対し、匿名でコメントを記入した付せんを貼る。
- ③発表者・来場者双方が今後の交流を希望する場合、主催者が仲介する。

本学での初開催を記念し、イベント初日には本館にてオープニングセレモニーを執り行いました。セレモニーでは、西田学長と東矢附属図書館長の挨拶に続き、イベントの趣旨等を紹介しました。

イベント期間中、研究を紹介する30件のポスターが掲示され、その研究内容に対する質問や今後の展開への期待など、200件を超えるコメントが寄せられました。

■開催期間・場所

▶本館

期間：2023年6月6日～12日

場所：2階 ラーニング・コモンズ

▶医学部分館

期間：2023年6月14日～20日

場所：1階 ホール



オープニングセレモニーの様子



本館会場



医学部分館会場

学内外の機関と連携し館内企画展を開催

図書館では、多様なテーマの企画展を開催し、学生が当該テーマについて考える機会を提供しています。

2023年度は、学内外の機関と連携し、以下の企画展を開催しました。各企画展では、連携先からご提供いただいたパネル等を活用し、テーマに関連する学内外の取組みや図書館所蔵資料を紹介しました。また、開催に際して図書館ウェブサイト内に企画展専用ページを開設し、直接来場できない利用者に向け、動画コンテンツや展示資料情報を配信しました。

■新入生歓迎企画展「あなたを支える図書館の使い方」

期間：2023年4月3日～5月31日

場所：本館2階ラーニング・コモンズ、医学部分館1階ホール

本学に入学してくる学部新1年生を主な対象として、大学生活を送る上で役立つ資料や、大学図書館の基本的な機能・利用方法を分かりやすく紹介しました。

この企画展では若手職員を中心とした準備チームを構成し、館内外で掲示したポスターや企画展のロゴは、Adobe Illustrator と Adobe PremierePro が得意なメンバーからノウハウを共有してもらい作成しました。新入生向けの図書館案内動画やデザイン性の高いポスター、ロゴの作成をとおしてスキルの習得につながりました。

また、二次試験前（2023年1月中旬頃）から図書館公式SNSへの投稿を開始しました。投稿の際は、ハッシュタグの活用や使用写真の撮り方・投稿方法を工夫しました。投稿内容についても、企画展開始直前までは受験生や新入生へのメッセージを中心に投稿を行い、図書館SNSに親しみを感じてもらえるようにしました。

これらの本企画展準備の様子については、2023年10月にパシフィコ横浜（神奈川県）で開催された、第25回図書館総合展のポスターセッションでテーマとして取り上げ、工夫した点等を紹介しました。



図書館総合展への出展の様子



Instagramへの投稿例

■JICA 沖縄との共催展示

期間：2023年6月14日～28日、2023年11月11日～23日

場所：本館2階ラーニング・コモンズ、本館1階イベントエリア（6月）、本館3階ホール（11月）

2023年度は、6月・11月の2度にわたり、JICA 沖縄との共催による展示会を開催しました。

6月には、JICA 海外協力隊の概要や募集情報及び沖縄県出身の隊員の活動の様子や経験談などを、JICA 沖縄からご提供いただいた豊富な写真とともに紹介する「JICA 海外協力隊活動パネル展」及び2022年にJICA 沖縄が開催した第2回SDGsフォトコンテストの受賞作品を紹介する「JICA SDGs フォトコンテスト作品展示会」を開催しました。

また、11月には、6月に実施した「JICA 海外協力隊活動パネル展」を、新たな写真や動画を追加した上で再度開催しました。



JICA 海外協力隊活動パネル展会場



JICA SDGs フォトコンテスト
作品展示会

■EU 資料展「さあ、世界への扉を開こう！」

期間：2023年6月20日～8月31日

場所：本館2階国際資料室前

図書館は国内に18あるEU情報センターの一つに指定されています。EU資料展は、駐日欧州委員会代表部が毎年5・6月を中心としてEUに関する理解を深めることを目的に開催する「日・EUフレンドシップウィーク」に合わせて開催しています。

この企画展では、本学グローバル教育支援機構国際教育センターや学生部国際教育課、グローバル・コモンズ・コンシェルジュ（GCC）と連携し、「留学」にスポットをあて、本学の留学に関する情報や、EU加盟国を含む、本学



EU 資料展会場

から留学可能な国に関連する図書館資料を紹介しました。

また、本資料展期間中、本館2階グローバル・commons津梁にて連携部署が企画した関連イベントを開催しました。

■水と暮らす

期間：2023年7月13日～8月3日

場所：本館2階ラーニング・commons

SDGsが目指す「質の高い教育をみんなに」「安全な水とトイレを世界中に」「海の豊かさを守ろう」に関連する企画展として、「水と暮らす」と題し、本学で行われている水環境・水循環に関する研究を紹介しました。

会場では、本学水循環プロジェクトや琉大ミーバイプロジェクト等について紹介したほか、テーマに関連する図書館資料を展示しました。また、7月21日には、本学教職員と連携し、同会場において水との付き合い方について学べるボードゲームを活用したワークショップ『ボードゲーム「すいまー」で学ぶ水との付き合い方』を開催しました。



ワークショップの様子

■国際ガールズ・デーから考える学びの機会

期間：2023年10月10日～31日

場所：本館2階ラーニング・commons

国際ガールズ・デーとは、国連により毎年10月11日と定められている国際デーの一つで、教育を受ける権利や望まない結婚を強制されない権利など「女の子の権利」の促進を広く国際社会に呼びかける日です。

この企画展では、本学ジェンダー協働推進室が女子学生の学びを支援するために実施している「琉球大学女子学生学術研究等活動うない奨励賞」で最優秀賞を受賞した大学院生及び、「岸本遺贈基金寄附金グローバル人材育成事業」を利用した大学院生が取り組んでいる研究活動や後輩に向けたメッセージを紹介しました。また、ジェンダーに関する無意識のバイアス（アンコンシャス・バイアス）について考えるきっかけとなる資料を展示しました。



大学院生のメッセージ紹介

■Blue & Green Revolution 琉大ミーバイプロジェクト & 琉ラボ 企画展

期間：2024年1月10日～31日

場所：本館2階ラーニング・commons

本学のBlue & Green Revolution拠点では、JST共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)本格型の採択を受け、「持続可能な食の未来」に向けて、海の産業である養殖を陸の産業にする「農水一体型陸上養殖」の研究開発を進めています。また、同拠点では、キャンパス内にオープンイノベーションスペースSTARTUP LAB RYUDAI(琉ラボ)を開設し、学生・教職員を対象とした大学発スタートアップ創出・成長の支援も実施しています。

この企画展では、農水一体型となる陸上養殖システム開発のために取り組んでいる、塩水アクアポニックス施設、再生可能エネルギーによる電源供給、ICT、IoT活用のスマート陸上養殖などを紹介するパネルや冊子、動画等を展示しました。併せて、「琉大ミーバイ」として、生産面で主な研究対象としている「ヤイトハタ(沖縄方言でアーラミーバイ)」の剥製や模型、調理サンプルなども展示しました。



企画展ポスター



企画展会場の様子

附属図書館 SD「事務系職員のための図書館講座～研究室備付図書管理編～」を開催

2023年12月14日、本館1階ライブラリーホールにて、研究費での本や雑誌の購入や支払い方法、資産としての「図書」の扱い方など、学部等の事務系職員から質問の多い事務手続きについて事務系職員向けに研修を実施しました。基本的な内容を理解したうえでスムーズに業務を行うため、学部・学内共同教育研究施設等から10名の参加がありました。

- ・大学の資産となる本はどれ？
- ・図書資産の管理はどうするの？
- ・教員が退職するときの手続きは？
- ・年度末になってから異動先に図書資産を移管したいと教員から申し出があったら？

など、図書館によく質問が来る内容について事務職員向けに説明しました。

今後は、業務に役立つデータベースの使い方や資料の利用方法など、図書館の活用法についても紹介していく予定です。

大学出版会設置

2023年7月5日、本学に琉球大学出版会が設置されました。琉球大学出版会は、研究成果としての学術書、教育資源としての教科書を刊行することで、本学の特色ある研究成果を広く社会に還元することを目的としています。教科書のデジタル化なども含めて、琉大トランスフォーメーションへの貢献も視野に入れた活動を目指します。

図書館も出版会と連携協力し、本学の研究成果の可視性向上に寄与して参ります。

琉球大学の歴史資料の移管

2023年10月1日付けで、本法人の歴史に関する資料群（大学史資料）が総務部より図書館に移管されました。

琉球大学は1950年、現在の首里城跡地に開学しました。琉球列島米国民政府（USCAR）の管理下に置かれた「布令大学」の時代から琉球政府立大学（1966年7月～）の時代を経て、1972年の沖縄県の「日本復帰」に伴い、国立大学となりました。本資料群は、このような他府県を見ても類例のない特異な歴史を持つ本学の沿革を知る資料です。

図書館ではこれまでも企画展等において本学の歴史資料を活用してきましたが、今後は整理作業を経たものを順次公開しながらさらに積極的に活用・公開していく予定です。

図書館所蔵資料が利用された出版等

書名・展示会等	提供した資料	日付
『イスラーム信頼学 news letter』3号	仲原善忠文庫（NA020）『模合帳一』	刊行日：2023年 3月20日
週刊『日本の島』No.66	Bull 文庫ガラス乾板写真 Slide No.48 “Entrance to Coal Mine”（炭鉱の入口）	刊行日：2023年 5月 2日
『日本の妖怪百科』	(OT019)『画本異国一覽 卷之四』	刊行日：2023年 5月30日
YouTube 沖縄歴史倶楽部チャンネル【#10】近世琉球の外交関係～対日関係の影響とは？～【トークでつながる！琉球史】	宮良殿内文庫（MI030）『常用案文集』	公開日：2023年 6月24日
『ビジュアル日本の音楽の歴史』2近世	伊波普猷文庫（IH044）『[工工四 屋嘉比朝寄]』	刊行日：2023年 7月14日
琉球放送「となりの賀数さん一家」第4回	伊波普猷文庫（IH045） 『おもろさうし 七八九 仲吉本』	放映日：2023年 8月30日
『東アジア海域のなかの日本 歴史・交易・文化』	(OT001)『[琉球人行列図錦絵]』	刊行日：2023年 9月10日
『沖縄のもあい大研究：模合をめぐるお金、助け合い、親睦の人類学』	仲原善忠文庫（NA021）『模合帳二』	刊行日：2023年11月30日
YouTube クイパラc h【三線教室・事務員パールの動画】由緒正しき替え歌「干瀬節」、三線弾く？舞踊を見る？琉球古典を楽しもう！（ふいしぶし／執心鐘入／かしかき）	伊波普猷文庫（IH044）『[工工四 屋嘉比朝寄]』	公開日：2024年1月12日

図書館日誌(2023年4月1日～2024年3月31日)

月日	事項
4月3日	新入生歓迎企画展「あなたを支える図書館の使い方」(5月31日まで)
4月5日・6日	セミナー「先輩に聴く!履修登録の方法」(ハイブリッド開催、講師:大学院生 TA)
5月17日	第1回附属図書館自己点検・評価委員会(オンライン会議)
5月19日	第17回琉球大学びぶりお文学賞募集開始
5月24日	第1回附属図書館学術情報基盤資料選定委員会(書面会議)
5月31日	第1回附属図書館沖縄関係資料専門委員会
5月31日	セミナー「先輩に聴く!読書会のやり方と魅力」(ハイブリッド開催、講師:大学院生 TA)
6月1日	オンライン決済を導入
6月6日	学内良縁マッチング企画「琉大100人論文」を開催(本館:6月12日まで、医学部分館:6月14日から6月20日まで)
6月13日	第1回附属図書館運営委員会(オンライン会議)
6月14日	企画展「JICA海外協力隊活動パネル展」(6月28日まで)
6月14日	企画展「JICA SDGs フォトコンテスト作品展示会」(6月28日まで)
6月16日	第1回琉球大学学術リポジトリ運営委員会(オンライン会議)
6月28日	「2024年から2026年の基盤資料選定方針」役員承認
6月28日	セミナー「先輩に聴く!グラフ描画ツール「GeoGebra」のすすめ」(ハイブリッド開催、講師:大学院生 TA)
6月29日	企画展「さあ、世界への扉を開こう!」(7月20日まで)
7月5日	第2回附属図書館学術情報基盤資料選定委員会(書面会議)
7月5日	琉球大学出版会設置
7月10日	第2回附属図書館運営委員会(書面会議)
7月11日	セミナー「先輩に聴く!大学院への進学について」(ハイブリッド開催、講師:大学院生 TA)
7月13日	企画展「水と暮らす」(8月3日まで)
7月14日	ミニ展示「琉球大学沿革紹介」(7月21日まで)
7月21日	Westlaw Next 講習会(講師:データベース提供元担当者)
7月28日	第1回附属図書館医学部分館運営委員会(書面会議)
8月31日	第2回自己点検・評価委員会(書面会議)
9月12日	第3回附属図書館運営委員会(書面会議)
10月1日	本法人の歴史資料にかかる業務を総務部から図書館へ移管
10月3日	第1回琉球大学出版会委員会(オンライン会議)
10月7日	令和5年度琉球大学附属図書館・博物館(風樹館)企画展「琉球大学資料展:恩納村の海と暮らし」(場所:恩納村博物館、10月29日まで)
10月10日	企画展「国際ガールズ・デーから考える学びの機会」(10月31日まで)
10月11日	第3回附属図書館学術情報基盤資料選定委員会(オンライン会議)
10月12日	セミナー「先輩に聴く!文化遺産学への招待」(ハイブリッド開催、講師:大学院生 TA)
10月13日	セミナー「先輩に聴く!海洋博研究の世界」(ハイブリッド開催、講師:大学院生 TA)
10月18日	第3回自己点検・評価委員会(書面会議)
10月19日	第2回琉球大学学術リポジトリ運営委員会(オンライン会議)
10月24日	第17回琉球大学びぶりお文学賞募集締切

月日	事項
10月26日	Web of Science オンライン講習会(オンライン、講師:データベース提供元担当者)
11月1日	第4回附属図書館学術情報基盤資料選定委員会(書面会議)
11月8日	第2回附属図書館沖縄関係資料専門委員会(書面会議)
11月11日	企画展「JICA海外協力隊活動パネル展」(11月23日まで)
11月11日	「おでかけ貴重書、南城市へ行く!」を開催(場所:かんじゅう駅南城、11月15日まで)
11月15日	第4回附属図書館運営委員会(書面会議)
11月22日	「おでかけ貴重書、美ら島沖縄学講座へ行く!」を開催(場所:沖縄県生涯学習推進センター)
11月22日	エコクリーンデー
11月24日	第17回琉球大学びぶりお文学賞選考委員会(小説部門)
11月29日	第17回琉球大学びぶりお文学賞選考委員会(詩部門)
11月29日	図書館防災訓練
11月30日	セミナー「先輩に聴く!県外就活ことはじめ」(ハイブリッド開催、講師:大学院生 TA)
12月1日	セミナー「先輩に聴く!博士課程に進学する前と後」(ハイブリッド開催、講師:大学院生 TA)
12月7日	第17回琉球大学びぶりお文学賞選考結果公表
12月9日	「おでかけ貴重書(古写真)、久米島へ行く!～琉大OBOG座談会編～」を開催(場所:久米島博物館)
12月16日	第20回琉大千原フィールドワークショップ(「農学部フィールドから見える琉球沖縄の歴史」にて附属図書館職員が講師を担当)
12月21日	第2回琉球大学出版会委員会(オンライン会議)
1月10日	「Blue & Green Revolution 琉大ミューバイプロジェクト&琉ラボ企画展」を開催(1月31日まで)
1月20日	「おでかけ貴重書、知名町へ行く!」を開催(場所:知名町立中央公民館)
1月29日	琉大リサイクル募金開始
1月29日	セミナー「先輩に聴く!社会とアンモニア」(ハイブリッド開催、講師:大学院生 TA)
1月31日	「電子黒板説明会」を開催
2月1日	「デジタル教科書体験説明会」を開催
2月5日	「琉球大学資料展～恩納村の海と暮らし」リバイバル展を開催(3月22日まで)
2月6日	第5回附属図書館学術情報基盤資料選定委員会(オンライン会議)
2月15日	研究データ管理セミナー(研究推進課共催、ハイブリッド開催)
2月17日	「おでかけ貴重書、和泊町へ行く!～『渡琉日記』の里帰り～」を開催(場所:和泊町防災拠点施設やすらぎ館)
2月20日	第4回附属図書館自己点検・評価委員会(書面会議)
2月22日	第3回附属図書館沖縄関係資料専門委員会
2月29日	第17回琉球大学びぶりお文学賞授賞式
3月4日	第5回附属図書館運営委員会(オンライン会議)
3月5日	第3回琉球大学出版会委員会(書面会議)
3月11日	第2回附属図書館医学部分館運営委員会(書面会議)
3月12日	第6回附属図書館学術情報基盤資料選定委員会(書面会議)
3月15日	「令和5年度『おでかけ貴重書、〇〇へ行く!』事業報告会」を開催
3月26日	第7回附属図書館学術情報基盤資料選定委員会(書面会議)
3月28日	企画展「データサイエンス、知って!」(5月9日まで)

図書館データ集 (2023 年度)

※特に記載のない限り、2024 年 3 月末現在のデータです。

■施設について

	総面積 (㎡)	収容可能冊数 (万冊)	座席数 (席)
本館	9,950	103	825
医学部分館	1,403	14	182

■図書蔵書数 (冊)

本館	和	613,419
	洋	250,192
	計	863,611
医学部分館	和	57,235
	洋	41,825
	計	99,060
全体	和	670,654
	洋	292,017
	計	962,671

■雑誌所蔵タイトル数 (種)

本館	国内	12,177
	国外	5,805
	計	17,982
医学部分館	国内	2,217
	国外	1,460
	計	3,677
全体	国内	14,394
	国外	7,265
	計	21,659

■年間図書受入冊数 (冊)

本館	和	5,261
	洋	320
	計	5,581
医学部分館	和	766
	洋	25
	計	791
全体	和	6,027
	洋	345
	計	6,372

■年間雑誌受入タイトル数 (種)

本館	国内	950
	国外	130
	計	1,080
医学部分館	国内	185
	国外	8
	計	193
全体	国内	1,135
	国外	138
	計	1,273

■年間電子資料購読数

電子ブック (点)	和	4,539
	洋	3,751
	計	8,290
電子ジャーナル (種)	国内	6
	国外	33,787
	計	33,793

■年間資料購入費 (千円)

図書	29,796
雑誌	20,589
電子ジャーナル・ データベース	176,300
計	226,685

■年間開館日数（日）

本館	329
医学部分館	337

■奉仕対象者数（人）

本館	8,433
医学部分館	3,275

2023年5月1日現在

■年間入館者数（延べ人数）

本館	137,007
医学部分館	31,895

■年間貸出冊数（点）

本館	69,267
医学部分館	8,898

■ILL（図書館間相互貸借）年間利用数

本館	貸借（冊）	借受	257
		貸出	322
	複写（件）	依頼	742
		受付	395
医学部分館	貸借（冊）	借受	5
		貸出	0
	複写（件）	依頼	355
		受付	613

■年間レファレンス件数（件）

本館	898
医学部分館	238

■図書館職員・TAによる講義等開催状況

開催回数（回）	100
受講者数（人）	3,404

■ラーニング・サポートデスク相談受付件数（件）

相談受付件数	271
--------	-----

■アクティブ・ラーニングエリア予約利用件数（件）

予約利用件数	206
--------	-----

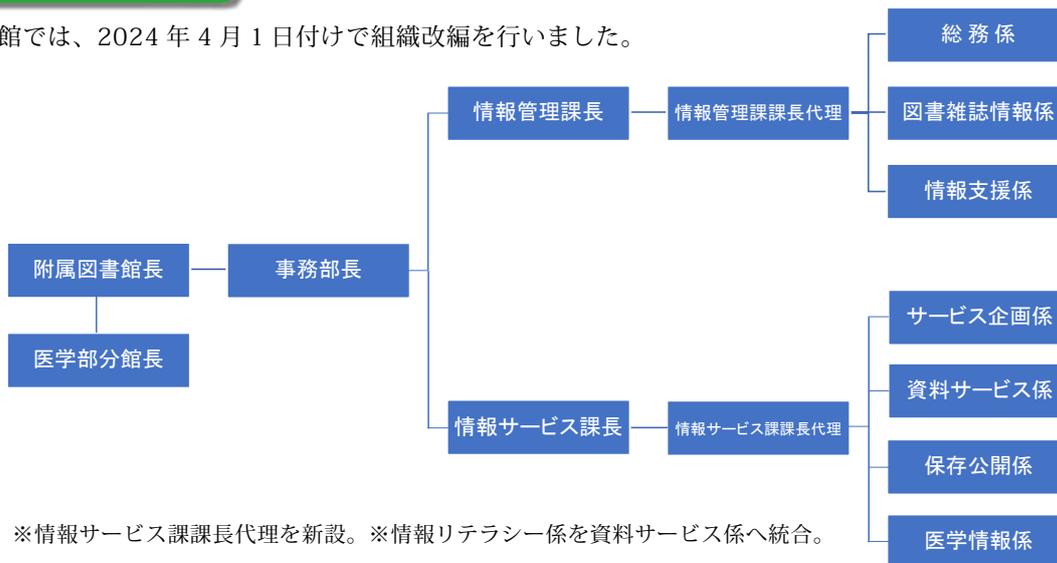
* 授業・学内行事等で利用された件数。

■琉球大学学術リポジトリ総登録件数（件）

登録件数	16,133
------	--------

図書館組織図

図書館では、2024年4月1日付けで組織改編を行いました。



【奥付】 琉球大学附属図書館報「びぶりお」第57巻（通巻第174号）
発行日：2024年6月
編集・発行：琉球大学附属図書館

〒903-0214 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
TEL：098-895-8161
E-mail：tskikaku@acs.u-ryukyu.ac.jp

* 前年度の図書館の活動報告を中心とした内容で、年1回、電子版のみを発行しています。